

今月は協議体の役割についてご紹介します。

ご存じの方も多いかと思いますが、“協議体”は、互助を中心とした助け合い・支え合い活動を創出して地域づくりを広げることを目的に活動を進める組織です。対馬市では平成28年度に豊玉町を皮切りに翌年度からはそれ以外の町ごとに第2層協議体を設置しています。また平成30年度には市全域を担当する第1層協議体を置いて、対馬市全体の取り組み方を協議・検討し、解決が難しい内容については、市へ政策提言を実施するなどの役割を担っています。このような取り組みの成果もあり、昨年度末で助け合い・支え合い活動が36グループ立ち上がり、各地で活動が展開されています。

ただ、こうした活動は、住民の志により動くものなので、もちろん時間もかかります。だからこそしっかりと目指す目標を定める必要があり、昨年度からは中長期的に取り組むため実施5ヶ年計画を立てそのひとつとして、全地区対象にした座談会も継続して開催をしているところです

お住まいの地域で「助け合いの取り組み」を進めたいという方は、お気軽にご連絡ください。

第1層生活支援コーディネーター 阿比留



サロン会員同士の交流



友愛訪問



企業と連携した買い物支援